

1999年 12月 26日 月 5:13 米子男児 3,840g

1人目の時は 何を考えずというか この 当日午前9時に病院へ
 行きました。予定日1週間前検診。うろたえていていました。
 子宮が赤らむと元気がないといふこと。子宮入院
 2日間点滴。出産、自然な流れはんとするは感じることができ
 ないのゆえに悩ま。分娩室で産後ケアを受け、少しはたかた
 いる看護婦さん達 (たまたまは産後ケアの先生はあつた...と聞いて)
 にあんなに押しつぶす+吸引してもらい 出てもらいました。...
 赤らむは 何分が待たせると手を握られたか。子宮が入れ直行
 してゆきました。3人目は自分で出産の自然な流れを
 感じることが出来た母親にたのしみととても良かった。です。
 そして何より 生まれた瞬間のその瞬間で、長男を
 抱かせてもらったこと。本当にうれしかった。
 康平先生も 千ヨさんも 大きいわ、重いわ〜 なんて言いはから
 計ってもらって、やはり大きかった。...
 夫も1人目の産後を切ることに決めた 感動していた様です。
 年の暮れで忙しい時なのに 毎回の手のこなし。ごちそう してく
 さい。頂戴ました。1人目は産後ケアの先生も
 康平先生、お体に命を付けて がんばらして下さり。
 (1人目も産後ケアの先生も) 産後ケアの先生も
 子宮はまたよいお腫れします。

1/30 星

やはり書くとお母さんと同じくおぼえておりました。か
 康平先生の人に対する言葉かけ 心配り等
 ですね。良い環境により、これから自分も
 どうなっていくか... と 思います。
 いろいろ ありがとう。ごさ... ました。